

## 松戸国際高等学校講義の後のご質問

### 〈 質問、お願い 〉

・学校のテストでは正しい答えを求めることが目標になっている。グローバル化するためには、学校教育はどのような方向に進むべきか。自分には何ができるか。

正しい答えを学ぶことは大事です。それに加えて、身の回りの課題についてどう理解するか、そしてどう解決するかについてクラスで話し合う時間が増えるとよいと思います。自分の意見をグループ間で話すとかクラスで発表して話しあうことができるといいですね。

・高校生におすすめの本は何ですか。

京セラを創ってその後 KDDI を創り、JAL の再建をした稲盛和夫の「生き方」「心」パナソニックを立ち上げた経営の神様と言われた実業家の松下幸之助の「道をひらく」「人生心得帖」

・海外の社長とのつきあいの中で、思い出に残っているエピソードや意見、考え方、言葉を教えてください。

「新しい仕事を任されたとき、自分の足跡を残すような仕事をする」 今までのやり方を変えて、その変えたことが後々まで踏襲されるように、という意味です。

・私は好奇心が強くないのですが、いろいろなことに興味を持つためには、どのようなことを意識すれば良いですか。

まずは身近なことでもう少し知りたいな、と思っていることから始めるとよいと思います。そのことにちょっと詳しい知人がいたら話してみる。「サー何から始めようか」と構えてしまうとなかなか進まないと思います。

・グローバル人材になるために、高校生の私が、今できることは何ですか。また大学に行ってからできることは何ですか。

英語を話せるようになる。学期休みに短くてもいいので海外に行く。大学では留学の機会を求めることをお勧めします。

・自分と異なるものに違和感を持たずに受け入れる力はどのように身につけたらよいですか。

異なるものはよいことだ、と常に思い続けて、自分と異なる人と仲良くなるようにして、自分と違う世界に接する機会を続けることと段々身につきます。

- ・精神の強靱さはどのように身につけられたのですか。

小学校の時はすごく引っ込み思案で全然目立たない子でした。それが嫌で、いつか人を引っ張る立場に着きたいと思っていました。大学に入ってその気持ちが一気に噴出してそれ以来、自分に絶対負けないぞ、と決めて人に負けない努力をし全力で走り続けました。

- ・高校卒業後、海外の大学への進学を考えています。レポートが多いと聞いていますが、期限内に良いレポートを書き上げるためのコツは何ですか。

早めの準備です。何を書くかというテーマが決まれば半分終わったと同じです。でテーマを早めに決めること。私はお風呂に入っているとき、朝の歯磨き中、ベッドに入った瞬間などにパッとアイデアが浮かぶことが多いです。

- ・これからの日本、世界では学歴は必要だと思いますか。

学歴は学んだことについてくるものですのであった方がよいと思います。学歴がなくても社会で成功している人はいますが、学んだという「証明書」を持たずに実力を認めてもらうのは並大抵のことではありません。

- ・海外では自然とグローバル社会に馴染むものでしょうか。

海外の国はどこも多様でいろいろな人が生活しています。ヨーロッパはちょっと足を延ばせば別の国に行けます。違う国でその国の生活に慣れようという姿勢があればグローバルマインドを持てます。

- ・海外でアルバイトする上で大変だったことは何ですか。

学生の時のアルバイトは海外なので特に大変ということは無いと思います。私の場合は海外でのアルバイトが初めてやるが多かったので仕事を覚えるまでちょっと大変でした。でも今から思うとすべて楽しい思い出です。